

現在の住環境の音問題

在宅ワークにより以前よりも増して  
生活空間の音環境に注目が集まっている



知的生産性を向上する適切な  
音環境が求められている



生活空間の音環境を改善して知的生産性の向上を目指す

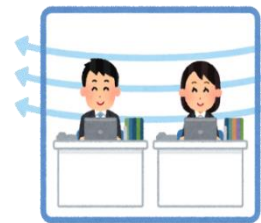


本研究の目的

覚醒度を高めることで  
作業効率の向上を目指す



覚醒度が向上するような  
快適な音環境を創生



研究内容

エアコン動作音の印象把握

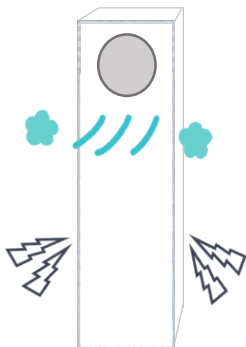
音質改善による知的生産性  
向上効果の影響把握

主観評価:

- SD法
- 一対比較法

客観評価:

- 心電情報
- 唾液アミラーゼ



音改善による作業効率の向上

動作音に覚醒を促す要素を加え  
作業効率を向上させる



温熱環境の変化や音の付与に  
より覚醒の維持を促す

単純作業だけでなくより総合的  
な知的生産性の向上を目指す

複合刺激による覚醒度への影響

改善したエアコン動作音と  
音場制御による  
相乗効果を目指す



相乗効果による覚醒度向上  
による知的生産性の向上を実現

複合した快適な音環境の創生